

特定非営利活動法人ハンガー・フリー・ワールド(HFW)

2019年3月度理事会 議事録

■開催日時 2019年3月2日(土)10:00~14:30

■開催場所 HFW事務所

■役員総数 9名(理事7名、監事2名)

■出席者数 8名

　　関口和孝理事長、西岡はるな副理事長、長谷川雅子理事、原田麻里子理事、渡邊奈美子理事、渡邊清孝理事・事務局長、大島仁志監事、矢崎芽生監事

■書面表決者 0名

■議事

1. 開会(司会:渡邊理事・事務局長)
2. 出欠確認(上記の出欠状況が報告された)

3. 理事長挨拶

4. 議事録署名人の任命

原田理事、渡邊理事・事務局長が、関口理事長より任命された。

5. 議事

【報告事項】

◎財務(2018年度仮決算、2019年度仮予算)

田中次長より、資料H-1が報告された。以下の通り

- ・為替差損の増加が著しいため、その原因について経理担当職員が調べ、次長が役員に対して報告することが決められた。
- ・矢崎監事より、遺贈寄附については、認定NPOだけではなく特定非営利活動法人であっても、税制が控除できるという情報が提供された。事務手続きが増える認定NPOを取得しないという選択肢もあるため、詳細を調べて対応することが決められた。
- ・本部職員基本給満額支給については、不確定要素があるもののマイナスではないので、どうすべきか検討された。なお、支部職員の待遇改善については、支部の退職金のあり方、及びその決定を踏まえて2021年度以降の待遇改善を今年度中に討議することが確認された。

◎会員／ひとつぶ募金拡大状況(2018年度仮決算、2019年度仮予算)

田中次長より、資料H-2が報告された。

【審議事項】

◎中期目標の組織運営における指標変更

田中次長より資料S-1の議案が上程された。西岡副理事長より、支部の理解を得ながら進めるよう意見が出され、全員一致で可決された。

◎2019年度本部の臨時人員体制

田中次長より資料S-2の議案が上程され、以下の付帯条件付けて、全員一致で可決された。

- ・組織図のウガンダ対応特命チームは、不正対応タスクフォースと適正化施策に関するタスクフォースに分ける。
- ・不正対応タスクフォースは、理事会に内部調査報告書を提出することを目的とし、本部事務局長が責任者となり、監査人、会計士、吉田氏(ウガンダにおける初回調査の通訳。元HFW職員)、不正対応の経験を持つ人物、及び必要があれば他に弁護士などに適宜助力を得ながら作業を進める。
- ・適正化施策に関するタスクフォースは、状況がより明確になり次第メンバーを決定する。

次期役員候補

田中次長より資料S-3の議案が上程された。全員一致で可決された。

【討議事項】

◎ウガンダ支部対応(調査、決算・総会開催などのスケジュール)

田中次長より資料 T-1 が説明され、以下の討議がなされた。

(決定事項)

- ・3月8日に発行される、監査法人による資金不正流用の中間報告書の結果をもって、■■■氏との調停案に対する本部の回答を決定する。
- ・パワー・ハラスメント疑惑の解明は、3月末までかかる見込みでスケジュールを組む。
- ・不正対応の経験を持つ人物に対応の助言を求める。
- ・労働争議対応として弁護費用を3月に90万円追加する。
- ・ウガンダ対応特命チームの責任者は本部事務局長。他に吉田氏、不正対応の経験を持つ人物、監査人、会計士を予定。4月13日の臨時理事会に、資金不正流用・パワー・ハラスメントに関する報告書を提出することを任務とする。
- ・その後の適正化施策のタスクフォースは、本部役職員も当事者に該当するため外部者を含めたチームを編成する。
- ・フレッド氏の労働争議と資金不正流用、パワー・ハラスメントは関連性が強く、適正化施策はこれらの問題を包含して扱う。
- ・公開の文面・文言、タイミング、公開の範囲(HPへの公開等)について、必要な関係者に早急に確認を取り、同意を得ながら進める。
- ・出席履歴がある正会員には、総会日程の延期をスケジュール表よりも早めに伝える。
- ・臨時理事会の日程は、4月13日(土)15:00~。支部に出張している可能性が高いが、佐藤真美氏と米良氏に出席(SKYPE等)してもらい状況を確認しながら議論する。二人の出席が困難な場合、開催日を変更する。

(主な意見)

大島監事: ■■■とは長い期間、信頼関係があつてやってきた。扱ったことのない大金が入った場合は不正が起こりやすいが、なぜ、彼はこのようなことをしたのか把握が必要。事の発端となった中古車の件は、■■■氏の私的流用目的というより、管理能力の問題が強い。パワー・ハラスメントも、被害者だけでなく、加害者双方の話を聞く事が重要。加えて、管理面で支部に訪問する本部職員は少ないという実情もある。これらの事柄を鑑みて、「■■■、職員だけが悪」という思い込みではなく、本部の責任も考えながら対応を進めること。

・大島監事からの指導を受け、理事会に提供されている情報が正しいかどうか、慎重に分析をして、今後の決定をくだす必要がある。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が下記に署名する。

2019年4月8日

議長

閑口 和孝



議事録署名人

原田 麻里子



渡邊 清季

